

第13回 重信川流域学識者会議

議事概要

日時：令和6年7月1日（月）10：30～

場所：松山河川国道事務所

【議事】重信川総合水系環境整備事業の事業再評価について

- ・事業効果を検証する上で、利用者数のデータ収集を行えるとよい。
- ・各所で駐車場が不足しているので、駐車場の追加整備ができるとよい。
- ・事業効果としては、自然再生事業と水辺整備事業の2つあるため、事業への理解度がアンケート調査結果、支払意思額に影響している可能性がある。
- ・アンケート調査時に事業説明ペーパーをつけているが、事業の必要性が伝わるよう日頃からの広報の積み重ねや工夫が必要であろう。
- ・資料中に事業の全体計画と進捗状況を明確に示してあるとより分かり易い。
- ・支払意思額などは、全国の事例を踏まえて妥当性を確認してみてもどうか。
- ・これまでに実施した自然再生事業で一定の効果が出ていると思われるが、残箇所の整備は現在の社会情勢等も踏まえ、よく検討するとよい。
- ・優先順位や整備効果を踏まえて、これまで整備された施設がある中、事業開始時の計画を、現時点で評価することは困難な部分もあると思われる。
- ・支払意思額の長期的な変化にも着目すべきである。
- ・事業をいかに知ってもらうかが重要なので、地元の名勝地などとも連携した紹介の仕方など、工夫するとよい。
- ・特に異議のあるような意見がないため、「重信川総合水系環境整備事業」については、事務局の原案のとおり事業を継続することとする。

以上